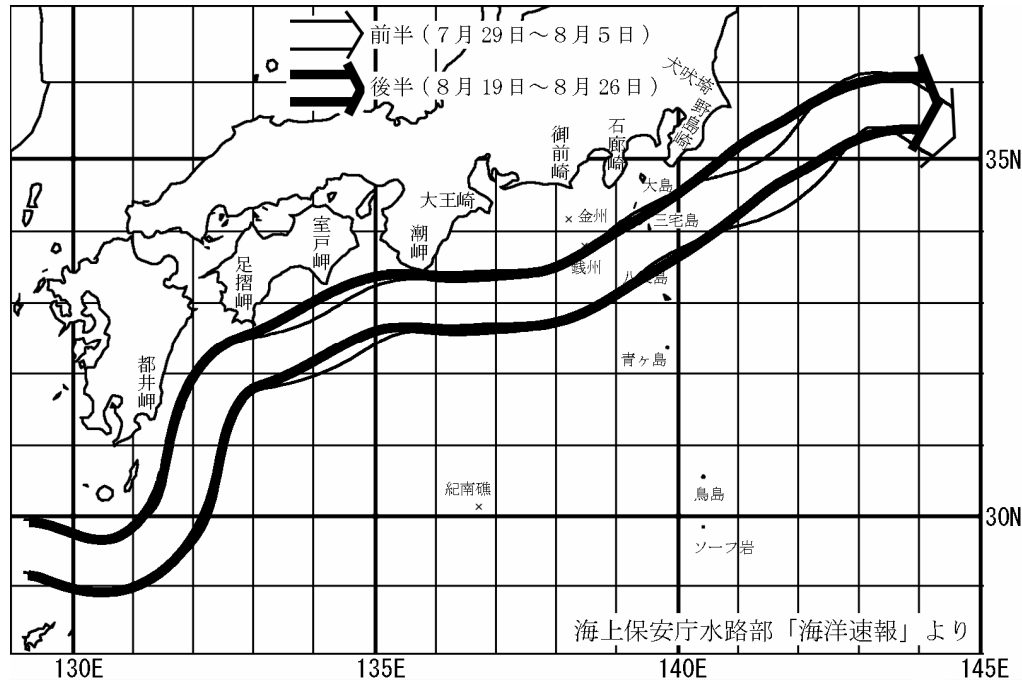


# 漁海況月報

平成 15 年 8 月 1 日

No. 8 ~8月31日

静岡県水産試験場  
(電話 054-627-4815)  
静岡県水産試験場伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



2003 年 8 月

定地水温の旬平均値 ( )

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	23.9	23.6	23.2	24.8	25.6	24.9	24.7
	-1.0	0.3	-0.5	-0.5	0.4	-0.5	-1.0
中 旬	23.6	23.2	23.2	24.0	24.3	24.3	23.0
	-1.7	-0.9	-1.1	-1.7	-1.4	-1.3	-2.9
下 旬	24.2	24.4	24.3	25.1	25.9	25.4	24.9
	-0.9	0.1	-0.2	-0.9	-0.3	-0.2	-1.1
月平均	23.9	23.8	23.5	24.6	25.2	24.9	24.2
	-1.2	-0.1	-0.6	-1.0	-0.5	-0.7	-1.7

## [黒潮流路]

黒潮は、7月に引き続きN型基調で推移し、遠州灘沖33°~33°30N付近を東進、御蔵島から三宅島付近を通過したのち北東に流去した。この間、黒潮流軸の変動に伴い、駿河湾、相模湾内には暖水が波及したが、沿岸域への影響は少なかったものと思われる。

## [県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾側では23~24 台、駿河湾東部では23~25 台、駿河湾西部では23~25 台で経過し、先月に比べて2 程度の昇温が見られたが、先月に引き続き平年よりも低め基調であった。地頭方での低温傾向が著しく、平年に比べ1~3 低めとなった。

## [竿釣近海カツオ]

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は70トンで前年同期の60%であった。魚価は187円/kgで、前年同期を大きく下回った。

中型竿釣船の記録(QRY)及び御前崎市場での調査によれば、8月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

上旬: 38°10'~39°50'N, 144°25'~149°00'E(表面水温20.7~24.3 )に漁場が形成され、小、中、極小、大カツオを漁獲した。静岡県近海では、主に沿岸竿釣り船が新黒瀬周辺で操業し、小(体長44cmモード)、極小、大カツオを漁獲した。

中旬: 37°~40°N, 142°~150°E(表面水温19~25 )に漁場が形成され、小、中、極小、大カツオを漁獲した。静岡県近海では、主に沿岸竿釣り船が新黒瀬周辺で操業し、小(体長46cmモード)、極小、大、中、特大カツオを漁獲した。

下旬: 37°~40°N, 143°~149°E(表面水温19~26 )に漁場が形成され、小、中、極小、大カツオを漁獲した。静岡県近海では、主に沿岸竿釣り船が新黒瀬周辺で操業し、大、特大、中、小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)	
15 年 8 月	上旬	28	9	3.1	174
	中旬	14	2	7.0	168
	下旬	28	8	3.5	211
15 年 8 月計	70	19	3.7	187	
14 年 8 月計	117	31	5.6	496	
13 年 8 月計	97	30	3.2	389	

## [まき網]

小川港では、マイワシは255.7トン水揚され、平年同期(過去5か年平均:16.3トン)の16倍と極めて好調であった。カタクチイワシは0.3トン水揚され、平年同期(3.4トン)の10%と不調であった。

沼津港では、マイワシは440.3トン水揚され、平年同期(4.3トン)の103倍と極めて好調であった。カタクチイワシは14.8トン水揚され、平年同期(8.4トン)の1.8倍と好調であった。

静浦港では、マイワシは23.9トン水揚げされ、平年同期(4.2トン)の5.7倍と好調であった。カタクチイワシは116.1トン水揚げされ、平年同期(253.4トン)の46%と不調であった。

伊東港では、マイワシは0.1トン水揚げされ、カタクチイワシは1.1トン水揚げされた。

**【サバ棒受網】**

小川港に水揚げされたサバ類は前年同月の水揚げ量(260トン)の約4倍の1,004トンで、すべてゴマサバであった。漁場は上旬には三宅から利島周辺海域に、下旬には銭洲海域に形成され、1隻当りの漁獲量は27.9トンと好漁が続いた。魚体の大きさは27~29cmのものが主に漁獲され、1kg当たりの平均単価は約35円と極端に安かった。

小川港 サバ類(棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成15年 上旬	307	4	18	17.0	三宅、新島、利島
8月 中旬	-	-	-	-	-
下旬	697	5	25	27.9	銭洲
計	1,004	9	43	23.4	- - - - -
平成14年8月	260	6	26	10.0	三宅、高瀬、銭洲、利島
平成13年8月	333	7	29	11.5	三宅、高瀬、銭洲

**【定置網】**

平成15年8月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は396トンであった。1漁場当たり水揚量49.5トンは、前年30.4トンの1.6倍、平年値(昭和57~平成14年平均値)43.7トンの1.1倍であった。

魚種別にみると、サバ類233トン(前年の5.3倍、平年の1.7倍) マルソウダ47.8トン(前年の1.1倍、平年の2.4倍) マアジ34.1トン(前年の1.8倍、平年の1.8倍) シイラ17.3トン(前年の2.3倍、平年の1.8倍) カタクチイワシ10.2トン(前年の1.0倍、平年の1.4倍)の順に多かった。

サバ類は赤石及び古網を中心にゴマサバ主体で入網し、サバ類の4~8月の合計は1,002トンとなった。これは、同期間のサバ類の漁獲量としては昭和57年以降で最も多かった。ゴマサバの尾叉長の範囲は18~41cmで、中心は20~22cm及び28~32cmであった。マルソウダは北川及び赤石を中心に入網し、尾叉長のモードは22cm及び32cmであった。マアジは谷津及び北川を中心に当歳魚主体で入網し、モードは14cmであった。シイラは富戸を中心に入網し、5月以降毎月10トン以上の漁獲となった。カタクチイワシは古網を中心に入網し、被鱗体長の中心は12.0~13.0cmであった。

漁場別水揚量は、サバ類の漁獲が多かった赤石(105トン)、サバ類及びカタクチイワシの漁獲が多かった古網(80.8トン)、サバ類及びマルソウダの漁獲が多かった川奈(53.3トン)の順となり、北部の漁場で水揚げが多かった。

**【シラス船曳網】**

1日1か統当り水揚量は、駿河湾で151kg、遠州灘で318kgだった。主要6港平均では263kgと前年同期(181kg)の145%、平年同期(過去5か年平均:374kg)の70%であった。8月の総水揚量は

530トンと、前年同期(324トン)の163%、平年(772トン)の69%にあたり、不漁だった前年を上回ったものの、平年を大きく下回った。平均単価は528円/kgと平年同期(553円/kg)並みに推移した。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新 居	46.1	14	209	221	446
舞 阪	166.7	14	603	277	514
福 田	183.6	13	352	522	390
御前崎	33.0	16	186	177	696
吉 田	55.5	14	340	163	656
静 岡	44.7	13	325	138	945
平成15年8月計	529.6	-	2,015	(平均)263	(平均)528
平成14年8月計	324.1	-	1,790	181	947
平成13年8月計	652.4	-	2,165	301	539

**【調査船の動向】**

富 士 丸

8月21日 小川にて県民の日一般公開(1日間)

8月22日~ 東沖カツオ・ビンナガ調査(7日間)

駿 河 丸

8月4~6日 地先定点観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

8月18日 駿河湾内にてトラフグ調査(1日間)

8月20日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査(1日間)

8月21日 小川にて県民の日一般公開(1日間)

8月25~27日 遠州灘にてトラフグ調査(3日間)

8月28~29日 駿河湾内にてサクラエビ IKMT 調査(2日間)